



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.4.1 No.4573

怒りの抗議！再回答せよ！

日貨労の即日妥結弾劾！

再回答を求めて申入れ(三月三十一日)

動労総連合は、JR貨物の三・二八超低額・格差回答に強く抗議し、速やかに再考・再回答を行なうよう、貨物会社に申し入れた。ベ・ア〇・三二%、千円などという回答は絶対に許せない！貨物会社は、三・二八回答を撤回し再回答せよ！

日貨労は、即日裏切り妥結！

なんと、日貨労・城石は、一言の抗議すらなくこの超低額回答を提案されたその場で受け入れ裏切り妥結した！まさに会社の手先以外の何ものでもない。日貨労・革マルは全貨物労働者の敵だ！今こそ日貨労を解体しよう。

4月1日以降の新賃金の再回答に関する申し入れ

動労総連合は、「申第3号」(1997年以降の新賃金及び労働条件の改善に関する申し入れ)に対する3月28日の会社側回答に対し強く抗議し、再考と再回答を求めるものである。

ベ・ア 0.32%、1,000円という回答は、動労総連合の要求と大幅にかけ離れたJR各社中最低額の回答であるのみならず、生活の向上どころか、社員の労働条件を大幅に切り下げる事実上の賃下げ回答であると言わざるを得ない。

とくに、「新フレイト21」計画により、一方で大規模な要員削減=労働強化を強い、他方賃金においても徹底した抑制を図るといふかたちで、国鉄分割・民営化の結果として抱える構造的矛盾の犠牲を一方的に社員に転嫁するような経営姿勢は、社員の無力感を一層醸成するだけであり断じて容認することができない。

従って、次のとおり申し入れるので速やかに再回答されたい。

記

1. 「動労総連合申第3号」に基づき、1997年4月1日以降の新賃金について、速やかに再回答すること。

三・二八緊急抗議集会

三月二十八日十八時から
千葉機関区において、一八
八春闘勝利、貨物格差粉碎

動労千葉総決起集会」が百
三十名の組合員が結集して
開催された。かつてない低



千葉機関区に動輪旗翻る
かつてない超低額回答に怒りの声の渦巻く総決起集会
130名の結集で緊急抗議集会をかちとる

額回答を出した貨物会社にたいする怒りの声に千葉機関区はつつまれました。初めに布施副委員長による主催者あいさつについて、来賓の水野さんよりあいさつを受けた。基調報告で田中書記長は「超低額回答に怒りをあげよう。ベ・ア〇・三二%は限りなくゼロに近い。格差に怒りの声をあげよう。この貨物格差を認めたいのは、日貨労革マルだ。今日を出発点に日貨労解体に立ち上がろう。本日われわれは、赤旗を立てて千葉機関区に新しい拠点を築い

た。貨物でも東でも結託体制をくずさなければダメだ。結託体制は目の前で瓦解が始まっている。いまこそJR総連合体・組織拡大に立ちよう。これは必ず出来る。当面四月五日の十周年集会和四月二十七日の臨時大会で新しい十年の闘いを方針を確立しよう」と訴えた。決意表明では千葉機関区支部、新小岩支部をはじめ旅客支部の代表者からもそれぞれ格差問題にともに闘う決意が語られた。最後に布施副委員長の団結カンパ